

「笑顔と感謝 ～心に残る運動会～」



晴天に恵まれて、5月27日(土)に運動会を行うことができました。5月8日から新型コロナウイルス感染症が、2類相当から5類相当にかわり、感染防止対策もそれまでより緩和されましたが、終息してはいないのと、5月とは思えない気温の高さのために元通りの形での開催とはできませんでしたが、子どもたちの体調管理を最優先して、今できる限りの内容で練習から取り組んできました。子どもたちが考えたスロー

ガンは、「笑顔と感謝 ～心に残る運動会～」でした。この3年間、多くの体験や学習が制限された6年生にとっては、小学校最後の運動会で、1年生にとっては、初めての運動会でした。スローガンに込めた思いを児童運営委員は、全体応援の中で言葉にして次のエールを送りました。

今年は、マスクを外すなど少しずつコロナ禍前の生活が戻ってきました。私たちのふるさと横島にも、徐々に笑顔が戻ってきました。この運動会もいつもお世話になっている地域の方々によって成り立っています。しかし、まだウクライナやスーダンなどでは戦争が続いている状態です。さらに石川の能登地方を中心とした地震もあり、決して私たちの生活は、安定しているものではありません。けれども、地域の方々や世界の人たちは、今日の前にある課題に全力で立ち向かっています。私たちは、日ごろからお世話になっている横島の方々をはじめ、困難に立ち向かわれているすべての方々に元気と力を届けるため、私たちも全力でエールを送ります。

困難に立ち向かっているすべての方々に向けて フレー フレー みんな！！

フレ フレ みんな！！ フレ フレ みんな！！

お世話になっている横島の方々に向けて フレー フレー 横島！！

フレ フレ 横島！！ フレ フレ 横島！！

子どもたちは、今の世界を、そして、自分たちが暮らす横島を一人ひとり見つめ、それぞれが体感しながら成長しています。その中で、考え作り上げたエールです。家族や地域の方々の日頃の温かい言動や戦争や災害で困難な中を生きている人びとの映像を思い浮かべながら、精一杯の大声で横島小の運動場からエールを送りました。子どもたちの笑顔と感謝の気持ちがきっと家族や横島の地域の方々、困難な中を生きている人びとに届いたと思います。そして、横島小の221名の子どもたちと私たちチーム横島小の全職員の心に残る運動会でした。運動会を行えたことに心から感謝します。





私たちこんなに大きくなりました！！

6年生の技巧走「私たちこんなに大きくなりました」では、本部テント前から保護者と子どもが別方向にスタートし、縄跳びをして、カードを引き、児童テント前でおち合い、どちらかが、おんぶしてゴールする競技をしました。写真のように身体も保護者とかわらないくらいに成長して子どもがおんぶするところがいくつもありました。

1・2年生 表現 「むつごろうどん」

1年生と2年生が合同で有明海名物の「むつごろう」を歌と踊りで表現した「むつごろうどん」を可愛い顔と踊りで披露してくれました。そろいの法被と豆絞りが愛くるしさをいっそう増していました。ご覧いただいたご家族や地域の方々からも微笑みが零れ、優しく、うれしい空気が運動場に広がりました。



潟担い節踊り



3年生と4年生は、横島小伝統の「潟担い節踊り」を披露しました。今年も横島潟担い節保存会の皆様に横島町が海に浮かぶ島だった頃から先祖や多くの人びとが何回も干拓工事をして今の横島町ができていることを教えていただき、指導していただきました。心から感謝します。子どもたちは、「昔の人とたちが、一生懸命頑張ってくれたので、今、僕たちがこうやっているんだ」との思いを踊りで表現してくれました。

P T Aと民生委員・児童委員のみなさまによる除草作業

運動会当日の1週間前、5月20日（土）午後5時から横島小の子どもたちの運動会が成功するためにP T Aと横島町の民生委員・児童委員の皆様が、校内の除草作業をしてくださいました。満杯の大きいゴミ袋が、20袋以上になる量の草等を1時間程で除草していただきました。お陰様で美しい環境の中で子どもたちが運動会を行うことができました。全体応援のメールで運営委員長が言った「この運動会もいつもお世話になっ



民生委員・児童委員の皆様

ている地域の方々によって成り立っています。」の言葉は、こうしたP T A、民生委員・児童委員の方々の姿を見た子どもたちから出たものでした。子どもたちが、日ごろの学校で進んで作業したり、掃除したりできるのは、家族や地域の方々の労働やボランティア活動を見ているからだと思います。心から感謝します。



P T A の皆様